

総持寺と私 (No. 8)

総持寺も昨年の大地震で多くの建物に被害を被りました。僧堂(座禅堂)は全壊で現在再建中です。中心的な存在である法堂の柱も大きく傾きました。再建に要する費用は40億円とされています。この中であって、明治の大火も免れた最古の建物である経蔵が今回の大地震にも耐えました。

さて、この経蔵の内部中央には巨大な発電タービンのような回転式八角柱(高さが4m、回転半径2m程)があります。各面には格子状の小さな引き出しがあり何百という経本が収められています。信仰心の深い門信徒たちにはこのろくろ式経柱を回転させることによって、収められているお経を唱えたと同じ効力があると信じられています。

この巨大な経本タービンを当時の子どもたちが見逃すはずがありません。当時は建物への出入りは全く自由で、観光客は一人もいません。何トンもの重さのあるタービンですが、小学生が3人ぐらいかかれば、最初は重いのですが徐々に回りだし、一度回りはじめればすぐには止まりません。適当な回転スピードに達した時に経本の引き出しに手をかけて飛び乗ります。暗闇の中の手動メリーゴーランドです。小学生の子どもにとって歴史的価値や宗教的尊厳などわかるはずがありません。総持寺そのものがフリーパスのディズニーランドであり、経蔵は待ち時間なしのスペースマウンテンだったのです。

効果があったのかなかったのかわかりませんが、私たちは小学校時代におそらく何万冊という経本を読んだことになるのでしょう。

先日、愛犬を連れて久しぶりに総持寺境内を散歩しました。経蔵の前でガイド嬢の説明を聞いている観光客をすりぬけようとした時、ガイドの言葉が耳に止まりました。



「この輪蔵は昭和42年に県の重要文化財の指定を受けました。昔はこの重要文化財に乗って遊ぶ子どもたちがいたそうです。今はそんな悪ガキはいません…」

悪ガキですみません。でも私たちが乗って遊んだ時はまだ重要文化財ではありませんでした。

合掌